

消防だより



# 虹のマーチ

2015.2  
第30号

川越地区消防組合

## 春の全国火災予防運動が実施されます

～実施期間：3月1日から3月7日の1週間～



# うけとって!いのちのボタン



大切な命を守るために応急手当を学びましょう

子どもの頃から命の大切さと応急手当の重要性を学び、救命技能を身に付けてもらうため、11月21日、市立霞ヶ関北小学校五年生105名を対象に救命入門コースの講習を実施しました。救急隊員の披露する愉快な寸劇や、3択クイズで応急手当の目的や必要性を学んだ小学生たちは、訓練用の人形を使い、心肺蘇生法の手順とAEDの使用方法を訓練しました。

「身近な人が急に倒れた時に、自分にもできることがある!」と意気込み訓練を開始しましたが、小学生は体重が軽いので思いのほか胸骨圧迫（心臓マッサージ）が難しく苦戦している様子でした。でもそんなことではめげない小学生たち、休憩時間も率先して自主的に訓練する姿が目立ちました。

AEDの訓練ではチームワークを発揮し、それぞれの役割と手順を理解して実施することができました。また、「学校以外ではどんな場所にAEDが設置されているか」、「時間帯によって使えない場合はないか」など話し合う場面もあり、積極的に考える姿が印象的でした。講習の終わりには、命を救うことの難しさと自分たちが担う役割の重要さを感じ、一段と引き締まった表情で参加証を手にしていました。

今回の講習をきっかけに、救命リレーの第一走者として活躍してくれることでしょう。

『当消防局では、毎月救命講習を実施しています』

突然心臓や呼吸が止まってしまった人を救うためには、その場に居合わせた人が応急手当をすることが重要です。いざという時のために応急手当を学んで、知識と技能を身に付けておきましょう。

※救命講習の詳しい内容等（団体での申し込みも可能）は、当消防組合ホームページをご覧ください。救急課又はお近くの消防署、分署にご相談ください。

消防局救急課

TEL 222-0160

川越地区消防組合

**認定救急救命士による新たな処置を開始**

救急救命士法施行規則が改正され、救急救命士の処置範囲が拡大されたことに伴い、新たに次の処置を平成26年12月1日から開始しました。  
**【心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液】**  
 これまで心肺機能停止状態の傷病者にのみ実施が認められていた静脈路確保及び輸液（点滴）が、血圧が急激に低下した生命に危険がある傷病者に対しても行えるようになりました。

**【血糖測定及びブドウ糖溶液の投与】**

低血糖発作が疑われる傷病者に対して血糖値を測定し、必要に応じてブドウ糖溶液を投与します。

新たな処置を実施できる救急救命士は、所定の講習を修了した認定救急救命士で、現在、9名で運用しておりますが、今後も継続して養成を図ります。



**消防局救急課 Tel 222-0160**

**患者等搬送事業者を認定しました**

当消防局では、平成26年9月30日、要件を満たした事業者『合資会社 ケアライフ・ソフト』に対し、第1号となる患者等搬送事業者認定証を交付しました。

患者等搬送事業とは、ストレッチャーや車椅子等を用いて患者等を医療機関への入退院、通院及び転院並びに社会福祉施設等への送迎を行う事業です。

また、認定を受けた事業者の搬送用自動車には、応急手当の講習を修了した乗務員が乗車し、応急手当に必要な資器材を積載しています。



**消防局救急課 Tel 222-0160**

**Webを利用した緊急通報システム  
の運用を開始します**

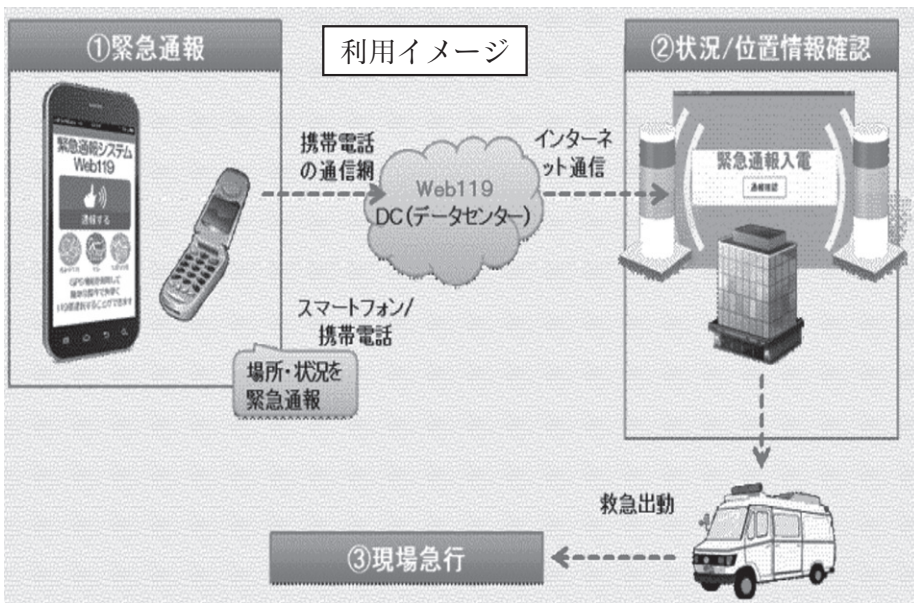
聴覚・言語機能に障がいがある方の119番通報は、FAXによる通報に限られていましたが、通信技術の発達により、携帯電話やスマートフォンのWeb機能を利用して119番通報を行うことが可能となりました。

これからは、音声による通報が困難な方が、このシステムを利用することで川越市及び川島町から簡単に通報ができるようになります。

- 運用開始 平成27年4月1日から
- 対象者 川越市又は川島町に在住し、聴覚障がい又は音声・言語機能障がいを事由として、身体障害者手帳をお持ちの方で、音声による119番通報が困難な方を対象とします。
- 申請方法 このシステムは登録制です。利用を希望される方は、身体障害者手帳、利用を希望される携帯電話又はスマートフォンを持参し、川越市在住の方は川越市障害者福祉課で、川島町在住の方は川島町健康福祉課で申請を行ってください。

**消防局指揮統制課**

Tel 222-0700  
Fax 225-2564



**川越市障害者福祉課**  
 電話番号 049-224-5785  
 FAX番号 049-225-3033  
 E-mail shogaiha@city.kawagoe.saitama.jp

**川島町健康福祉課**  
 電話番号 049-299-1756  
 FAX番号 049-297-6087  
 E-mail fukushi@town.kawajima.saitama.jp



**中学生を対象に  
災害図上訓練(DIG)が行われました**

平成26年9月1日、市立鯨井中学校において、全校生徒を対象とした「災害図上訓練(DIG)」が行われ、消防職員もサポートとして参加しました。

DIG(ディグ)とは、Disastar(ディサスター||災害) Imaginatio n(イマジネーション||想像力) Game(ゲーム)の頭文字をとって命名された訓練です。この訓練は地図を使用して行うため、場所や資器材にとらわれることなく行うことができ、問題点やこれから行わなければならない課題などを見つけ、認識することができます。

今回の訓練では、帰宅途中に地震が発生したという想定で、実際に生徒が通学している地域の地図を使用し、災害情報等を記入しました。また、生徒自身がどのように行動したら良いかを考え意見を出し合いました。皆、真剣に考え、たくさん良い意見が発表されました。



地図を作成して地域を見直します！



**「埼玉県川越市国民保護実動訓練」に参加しました**

平成26年11月25日、川越運動公園・総合体育館において「埼玉県・川越市国民保護実動訓練」が実施されました。この訓練は、武力攻撃や、大規模なテロが発生した際に国、都道府県、自治体、医療機関等が相互に連携をして、住民の避難や救援措置等を行い、緊急事態への対処能力の向上を図るものです。

今回の訓練では、イベント開催中の会場で、化学剤と爆発物を用いたテロが発生したという想定のもと、12団体、約700人が訓練に参加し、緊急事態への連携強化を図りました。

当消防局においては、化学防護服という特殊な装備を着装した隊員による救出・救助活動及び負傷者に付着した有害物質を洗い流す除染活動を行うとともに、負傷者の迅速な救急搬送を実施しました。



**全国一斉に春の火災予防運動が始まります**

平成27年3月1日から3月7日までの間、春の全国火災予防運動が実施されます。この運動は火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防の意識を高め、火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする被災者を減少させるとともに、財産を守ることを目的としています。

大規模なテロ等の緊急事態に備え、迅速に対応できるように、今後も関係諸機関と連携強化を図り、安全・安心なまちづくりを目指していきます。  
消防局警防課 Tel222-5891

**放火を防ぐ10のチェックポイント**

- 建物の周囲や敷地内に紙くずや廃材など燃えやすいものを放置していませんか？
- ゴミは指定された日時、場所に出していませんか？
- 玄関、物置、車などを施錠していませんか？
- オートバイ、自転車のボディーカバーは防炎製品を使用していますか？
- 郵便受に、新聞チラシなどを配達されたままにしていますか？
- 洗濯物の取り込みを忘れていませんか？
- マンションなどの共用部分を物置がわりにしていませんか？
- 自転車やバイクのかごに、物を置いたままにしていますか？
- 外出時、おやすみ前、ドアや窓などを施錠してありますか？
- 家族で放火防止の話し合いをしていますか？

「放火されないように目配りをしましょう。」  
消防局予防課 Tel222-0744

# 川越市消防団だより

第四号

第3回火災消火活動訓練を実施



チェーンソーの操作説明の様子



実際に角材を切断して操作確認



2線放水による包囲隊形

川越市消防団は貫井達也団長指揮のもと、平成26年9月〜10月にかけて、川越西消防署名細分署を会場として、今年度で第3回目の「火災消火活動訓練」を実施しました。

今年度の訓練は、これまでの訓練で習得した「島田折りホースの作成・延長・肩掛け収納要領」「ホースカー及び二分岐金具による2線放水隊形要領」「木造建物火災を想定した包囲隊形要領」「注水要領（ストロート注水・噴霧注水）」「緊急時の対応方法」などの要点を再確認しながら進めました。

訓練の後半では、今年度から全分団に配備されたチェーンソーの操作説明が行われました。消防職員の方から、チェーンソーを安全かつ有効に使用するための指導を受けた後に、実機を用いてのエンジン始動、スロッ

トル調整、停止方法の手順やメンテナンス方法などを確認し、その後、参加した団員は実際に丸太を切断し、新たな装備品の操作方法を体得しました。

従来の消防団活動では、発生した火災の迅速な消火や、火災の未然防止が活動の中心でしたが、消防団に対し地域の方々から寄せられる期待の変化や法制度の変更などを受け、自然災害による、倒壊家屋からの救助なども活動範囲に想定して、「安全・安心なまちづくり」を実現するため実践的・応用的な消火活動訓練を実施し、団員の知識習得、技術向上を図るとともに、分団相互及び消防職員との連携を強化し、確実かつ、迅速に対応出来るよう、今後も訓練に取り組んでまいります。

## 小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈されました

平成27年1月11日、(社)日本損害保険協会から川越市消防団へ、小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈されました。市内の狭隘な箇所での消火活動など、様々な場面で地域防災力の向上のために活用していきます。



## 活躍する女性消防団員

私たち女性消防団員は、川越百万灯夏まつりにおいて、日頃行っている火災予防啓発活動や応急手当普及啓発活動を皆さんに知って頂こうと、連雀町交差点に設営されたステージで腹話術と寸劇を用いて活動発表を行いました。

活動発表に向けて、約2ヶ月前から台本作成、配役決めを経て、週に1回の練習を行いました。今回は真夏の活動発表ということで、団員の顔に直接フェイスアートを施して寸劇を実施しました。

腹話術で人形の消ちゃんとお姉さんとの掛け合いから始まり、「♪～もしかしてだけど～」と流行りのネタを取り入れて、笑いを誘いました。寸劇では普通救命講習で取得している知識を活かして、うさぎのミミちゃんとおねずみのチュー太くんが、大福をのどに詰まらせ、意識がなくなってしまったトコおばあちゃんに「背部叩打法と心肺蘇生」を行い、助けるお話を演じました。

また、川越市の住宅用火災警報器の設置率を報告するとともに、住宅用火災警報器の種類を紹介し、普及を呼び掛けました。

今後も引き続き、女性消防団員の認知度を上げるとともに、市民の皆様を理解と協力を呼び掛けていきたいと思ひます。



寸劇で女性消防団の活動を紹介

## 各地区で防災キャンプに参加(南古谷分団・大東分団)

川越市消防団では、地域に根差した活動として、各地区の『防災キャンプ』にも参加しています。今回は、平成26年8月23・24日に南古谷地区と大東地区で開催された防災キャンプでの様子をお伝えします。

### 南古谷地区 『南古谷子ども防災キャンプ』

南古谷分団(石井分団長)は、『南古谷子ども防災キャンプ』に参加しました。防災キャンプは、小中学生の避難を想定し、南古谷中学校へ集合することからスタートし、中学生を中心とした「炊き出し訓練」、消防職員による「応急手当・救命救急訓練」、女性団員による「腹話術やクイズ」、南古谷分団のポンプ車を使った「放水体験」などが行われ、初めて取り入れられた中学生の「屋内消火栓での消火訓練」では、炎を模したのが見事倒されると周りから大きな拍手が沸き起こるなど、参加した子どもたちはとても熱心に取り組んでいました。他にも、はしご車の搭乗体験などが行われ、普段は触れることのない消防車を前に参加した子どもたちは目を輝かせていました。



南古谷地区での放水体験の様子



大東地区の三角巾の使い方講習

### 大東地区 『新・大東市民センターに泊ってみよう』

大東分団(高橋分団長)は、大東子供サポート委員会主催『新・大東市民センターに泊ってみよう』に参加しました。この催しでは避難所生活の疑似体験を目的に、大東地区の児童約100名が市民センターに集合し、1泊2日の避難所生活を体験しました。

体験では、消防職員による「なまず号による地震体験訓練」や「煙体験ハウスでの火災避難訓練」、「水消火器による消火訓練」が行われ、その後に「大東分団のポンプ車展示」、学校別に分かれての「消火バケツリレー」、女性団員による「三角巾の使い方講習」が行われました。

今回の体験を通じ、みんなの心に「自分たちの地域は自分たちで守る」という気持ちを伝えることができたのではないかと思います。

川越市消防団は地域の一員として、自治会や地域の各種団体と連携し、これからも防火・防災・減災の為に地域に根差した活動を展開していきます。

## 団員紹介

川越市消防団には、さまざまな想いを持った新しい団員さんが毎年入団しています。その中の二人をご紹介します。

### 【霞ヶ関分団 島村 彰団員(自営業)】

私の消防団入団のきっかけは、霞ヶ関分団の方々からの熱心な勧誘と、霞ヶ関地区で働く人間として、少しでも地域の役に立ちたいとの思いからでした。入団当初は分からない事ばかりで戸惑いましたが、先輩方の熱心な指導により、次第に溶け込むことができました。

今年度の6月に行われた消防ポンプ操法大会では、2番員に選出され、厳しい練習を重ねた結果、納得のできる成績を取める事が出来ました。

普段は石材業(自営)に従事しています。入団してからは人と人の繋がりも増えたので、これからの仕事の面での広がりにも期待しています。今後は、今まで以上に消防活動に力を入れ、地域の



操法大会には2番員として出場

普段は石材業を営む

皆様の安全・安心な生活に貢献できるように頑張っていきたいです。

### 【女性団員 山田 百代団員(学生)】

私は、現在大学2年生です。消防団に入団したきっかけは、中学生の時に消防音楽隊定期演奏会の幕間に見た女性団員の活動紹介です。寸劇を通じて心肺蘇生法の大切さや住宅用火災警報器の設置を呼び掛ける姿を見て、私もやってみたいと思い大学入学と同時に入団しました。

入団1年目は、規律訓練など慣れないことも多く、大変でしたが、先輩方のアドバイスや動きを参考にして楽しく身につける事が出来ました。

今年度は応急手当普及員の資格を取得し、救命講習班の一員として、展示や寸劇を交えた指導を行っています。

年間を通じての行事や活動は多いですが、やりがいを感じて取り組んでいます。これからも愛する川越のため、女性団員として市民の皆さまの役に立てる活動を行っていききたいと思います。



救命講習班で活動

今年、成人式です

私たちと一緒に消防団で地域活動してみませんか？ HPもありますのでぜひご覧ください。

興味のある方は 連絡先:消防局 総務課 消防団担当 TEL 049-222-0741

川越市消防団

検索



# 川島町消防団だより

第四号

埼玉県消防操法大会で優勝!!  
全国消防操法大会で敢闘賞を受賞!!



平成26年8月23日、埼玉県消防学校で行われた第28回埼玉県消防操法大会「ポンプ車の部」に出場した当消防団第五分団が見事優勝し、同年11月8日に東京臨海広域防災公園で開催された第24回全国消防操法大会への出場を果たし敢闘賞を受賞しました。

両大会ともに、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展を目的として二年に一度開催されています。

ポンプ車操法とは、設置された水槽から給水して、火点と呼ばれる的へ放水し、撤収するまでの一連の操作を行うものです。

全国大会では、惜しくも入賞はなりませんでしたが、この経験を生かせるよう、今後も消防団活動に励んでいきます。

多くの皆様にご支援いただきありがとうございました。

消防団創設以来の  
快挙じゃよ



消防団長 宮前 守

多くの皆様に支えられ、無事に大会を終えられました。今後も、消防団がひとつになって、安全なまちづくりに取り組んでいきます。



第五分団長 石川 貴洋

このような結果が残せたのも、選手はもちろん、分団が一丸となり努力してきた成果だと思えます。この経験を今後の消防活動に生かしていきます。



指揮者 沼田 勝利

支えてくれた家族、ご支援いただいた皆様に感謝しています。全国大会では、入賞はなりませんでしたが、埼玉県代表として、全力を出し切りました。



1番員 長島 広明

支えていただいた皆様に心から感謝しています。長期に渡る訓練の中で、色々な事がありましたが、全国の舞台に立った時は本当に幸せでした。



2番員 道祖土 主典

2月末から訓練を開始して、8ヶ月半…「長かった」が率直な感想です。県大会優勝、全国大会出場と良い経験をさせていただきました。



3番員 関 勝利

辛く、厳しい時もありましたが、たくさんの人に支えられて県大会、全国大会に出場する事ができました。この経験を次に生かして行きたいと思いません。



4番員 鈴木 孝

感謝の気持ちを胸に全国大会に臨みました。苦労をともにした消防団の仲間、家族、支援してくださったOB、消防職員、皆様ありがとうございました。

応援ありがとう。  
今後も川島町消防団を  
よろしく願います!



## 安全安心のために — 消防団の取り組み —

### ◆水害に備えて、舟艇取扱い訓練を実施

平成26年7月20日、川島町白井沼地内の土地改良区白井沼ファームポンドで舟艇取扱い訓練を行いました。

川島消防署職員の指導のもと、各分団が所有しているゴムボートを組立て、舟艇操作訓練のほか、救命浮環の取扱い訓練も実施しました。救命浮環を遠くに投げるのは、思った以上に難しく訓練の必要性を感じました。

川島町消防団では、水害時に資器材を活用し、迅速な救助活動が行えるよう、今後も技術の習得に励んでいきます。



川島町消防団は、水防団としても活動しています。



### ◆川島町防災訓練に参加しました



平成26年9月7日、川島町防災訓練が出丸小学校で行われました。当日は雨のため、体育館で応急処置、応急担架搬送法、AEDの訓練を消防職員とともに住民の皆さんに指導しました。

### ◆認知症サポーター養成講座を受講



平成26年7月17～20日、認知症への理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を受講しました。非常時にどのように対応したらよいかなど、今後の活動にいかしていきます。

## ☆活かす、きらめく、女性のチカラ☆～女性団員活動紹介～

女性消防団員は今年度から、手作りの紙芝居を使用した子ども向け防火教室を始めました！

初披露となった川島春まつりでは、多くの幼児、小学生が紙芝居の前に集まりました。紙芝居の後には、火の用心について消防団員と子どもたちで話し合い、火災予防のポイントを確認しました。

今後は、紙芝居に加え、体験型の防火訓練を組み入れ、さらに充実させていく予定です。幼いうちから「自分の身は自分で守る」気持ちを育てられるよう、活動の場を広げていきますので期待してくださいね。

この他にも、女性団員は、地域の防火教室や火災予防広報活動などに参加しています。現在、11名が活躍中です。今後も住民の皆さんのお役に立てるよう、精いっぱいがんばっていきます。どうぞ、よろしくお願いします！！



平成25年度決算

消防局総務課 TEL 222-0741

歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,350,933,509円 (91.8%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	6,254,327円 (0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	541,140円 (0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	166,941,258円 (3.5%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	22,803,387円 (0.5%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	164,600,000円 (3.5%)
県支出金 (一定の事業に使いみちを特定して県から交付されるもの)	1,093,680円 (0.0%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	26,864,000円 (0.6%)
<b>歳入合計</b>	<b>4,740,031,301円</b>

歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	5,122,027円 (0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	3,166,858円 (0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要な経費及び消防施設の建設費等)	4,334,828,345円 (95.3%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	204,537,785円 (4.5%)
<b>歳出合計</b>	<b>4,547,655,015円</b>

※比率(%)の合計は、端数処理の関係で100%とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

●川越地区消防組合定例表彰式  
 川越市市民会館で定例表彰式と消防音楽隊定期演奏会を開催します。入場無料。  
 開催日 平成27年3月1日(日)  
 開式時間 午後1時  
 閉式時間 午後2時  
 管理者(川越市長) 表彰、消防団長表彰  
 ●川越地区消防組合消防音楽隊第10回定期演奏会  
 開演時間 午後2時30分  
 閉演時間 午後4時(予定)  
 ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。  
 消防局総務課 TEL 222-0741



川越地区消防組合定例表彰式  
 消防音楽隊第10回定期演奏会

消防局総務課 TEL 222-0741

- ・川越市大字下広谷 櫻井琢磨さん
- ・川越市大字中小坂 内田航輝さん
- ・川越市旭町一丁目 松井茂さん
- ・川越市大塚二丁目 引地節子さん
- ・東京都足立区西伊興一丁目 鶴巻達之さん

- ◎救急活動協力に貢献
- ・川越市大字藤間 青田武二さん
- ・川越市大字大仙波 肥塚智宏さん
- ・川越市仙波町三丁目 菊田茜利さん
- ・川越市大字小堤 柏井喜代恵さん
- ◎人命救助活動協力に貢献
- ・川越市小仙波町二丁目 納所憲伸さん

人命救助・消火・救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。



ありがとうございます

虹色通信 ~幼年消防クラブ絵画展~

毎年、春の火災予防運動期間中に、幼年消防クラブ絵画展を開催しています。園児たちの描く個性あふれた消防車などの絵をぜひご覧ください。皆さまのご来場お待ちしております。

【開催日時・場所】

- 2月28日(土)  
午前10時30分～午後4時  
アトレ6階コミュニティールームA
- 3月1日(日)午前11時～午後4時 川越市市民会館  
消防局予防課 TEL 222-0744



火災等の災害情報案内が、平成27年4月1日から変わります。  
 変更前 「049-223-0700」  
 変更後 「0180-994-310」  
 この番号をご利用いただくと災害発生場所、災害種別を音声メッセージでお知らせいたします。このサービスでは多数の人が同時に災害情報を聞くことができます。  
 消防局指揮統制課 TEL 226-7408



災害情報テレフォンサービスの番号が変わります

消防だより

虹のマーチ

2015.2 第30号

□発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823川越市神明町48-4 TEL 049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

火事・救急・救助は119番 消防テレホンサービス TEL 223-0700 \*かけまちがいにご注意ください。

平成26年中の火災・救急・救助件数

火災	132件
救急	16,143件
救助	187件

119番通報回数は24,765件でした。

